

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,350,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,841.95㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	16,670	14,975	15,972	13,659	15,050
	移動児童館利用者数	2,965	1,852	2,467	2,099	1,199
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	23	24	22	22	18
	開館日数(単位:日)	150	144	150	145	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(児童厚生員)嘱託職員(児童厚生員)常勤パート 非常勤パート 各1名 ③機関紙「わんぱくっこ」及び「幼児向け日程表」等の配布 ふりあネット登録 ④定期的にアンケートを実施するとともに日常「ご意見箱」を設置して利用者の苦情、要望を吸い上げ改善するなど対応した。アンケート結果は公表
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。光熱水費の省エネに努めた。 ④破損した玩具についてはおもちゃ病院の協力を得て修繕した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年7月4日～11日 幼児クラブ(2,3歳児)に登録の母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数 78名 回答者数63名(回収率81%)
利用者アンケートの実施結果	<p>幼児クラブはいかかでしたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回子どもが楽しめる活動で、親子共々楽しい時間を過ごせたのでよかった。感謝している。 ・いつも50分があっという間に終わってしまうほど楽しかった。・楽しかったので隔週でもよかった。 ・他のクラブではやっていないことをやってくれてよかった。・友達ができて嬉しかった。 ・子どもが楽しく踊ったり、手遊びしたりしていて親も嬉しくて楽しかった。 ・新聞紙遊びやサーキット遊びなど家ではできないダイナミックなことができて楽しめた。 ・楽しく遊びながら、順番やルールを守ること親子で学ぶことができ、とてもよかった。 ・回数は少なかったが内容が充実していて、子どもと二人の時間がとても楽しかった ・月齢の大きい子と遊んで刺激になり勉強になった。・同年代の子と関わる機会が持ててよかった。 ・先生たちの語りが上手で、子どもが集中していた。紙芝居やパネルシアターは親も楽しめた。 ・毎回来るのが楽しみで、体操もお話も運動もできるので満足している。 ・体をたくさん動かして楽しかった。・のびのびと体を動かして親子共々ストレス発散になった。 他
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<p>幼児クラブへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがきりんクラブに毎週行きたがるので隔週が残念。毎週あるといい⇒希望者全員を受け入れるためやむなく隔週になっている。 ・同じ幼稚園に行く人と話ができるようにしてもらえると嬉しい・クラブの曜日を代えてほしい。ニクラス目のはじまりの時間が遅い。 ⇒ 個々の希望に応じることは物理的に困難である。 ・人数が少ない方が駐車場が助かる。⇒ 希望者全員を受け入れている現状では困難。 ・絵の具遊びをやらせてみたい・遠足の時は自由行動の他に皆でできる活動があるといい。⇒ プログラム企画時に検討する児童館へ ・仕方ないことだが、カラタンの駐車場にとめるのが面倒に思う。・駐車場を広くしてほしい・保健師さんがいるといい。 ⇒ 市に利用者の要望として伝える。 ・お弁当の時間を11時半からにしてほしい。いつでも食べられるようになったらいい⇒ 児童館では場所がない。現在の場所は老人センターで講座等の関係で難しい。 ・手洗い場に踏み台があると嬉しい・ブラレールの列車の連結部分を直してほしい。⇒ おもちゃの点検は、こまめにしているが、更に気をつけていきたい。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	SS	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	SS	SS	SS
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>○幼児(親子)向けの新規事業(「ベビーヨガセラピー」「お父さんのためのベビーマッサージ」[キッズタッチ])を新規開設した。利用者からはたいへん良い評価を受けている。</p> <p>○新しい玩具、優良図書の新設等利用者目線で設備品を増やした。また、新刊の図書をわかりやすいように本棚の上に並べて紹介したことも、利用者には新鮮であったようで、良い評価を得ている。</p> <p>○児童の行事に関して、積極的にリクエストを取り入れ、行事の回数と種類を増やした。又、結果を館内に発表したり、お便りに掲載する事で子どもの意欲の効用を図った。(前年度同期比37%増)子どもの参加数も増えて、好評を得ている。</p> <p>○接遇に関しては、今までどおりを維持した。利用者には良い評価を得ている。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>○事業団内の児童館・児童センターの職員歩対象にほぼ月に1回のペースで研修会を開催している。その中で指導技術等のノウハウを共有する機械を設けており、それぞれ持ち寄ったレシピの交換等研鑽に努めている。</p> <p>また、岐阜県児童館連絡協議会の主催する研修会にも積極的に参加をする事で、参加者のすきるアップを図ると共に、学んだスキルを持ち帰り、職員間で共有する事で、利用者サービスの向上を図っている。</p>
今後の取組み	<p>○児童を取り巻く環境は、ますます厳しくなってきたと思われる。テレビゲームの普及・定着で子ども達の遊びが大きく変化している。1人遊びがその中心となっていることは、群れて遊ぶ(集団遊び)機会が失われてきている。すなわち子ども達の社会性を育てる機会が失われていることで、それが、大人になってから会社になじめない体質を作ったりしてニートの増加等、その影響は深刻である。そんな中で、児童館では、異学年の子どもが、集団で遊ぶ機会に恵まれ、子どもの社会性を育むだけでなく、様々なメニューを用意する事で、個性を伸ばす機会になり、自己肯定感を育てる可能性を秘めている。私達は、そんな児童館で遊ぶ子どもを少しでも増やすことができるように、いっそう施設サービスの充実を図るとともに、子ども達だけでなく地域に児童館の存在と、その機能を周知する事が望まれている。また、「核家族」[社会形態の変化]に伴う子育て最中の母親の孤立化も目立っている中、児童館は「虐待予防機能」「少子化対策機能」も持ち合わせている。このようなことを踏まえて、ますます児童館が輝く施設となるよう努めていきたい。</p>

●所管課の意見

児童館のホームページや地域の公民館等の施設内に児童館の紹介コーナーを設けて、児童館のパンフレット、小学生向けのおたより、幼児向けの行事案内など置いて広報活動を行った。アンケートを実施して、ニーズの把握に努め、幼児クラブのプログラムについて取り入れたり、おもちゃや絵本を増やすなどした。また本棚に新刊コーナーを設けるなど工夫した。新規事業も「ベビーヨガセラピー」「お父さんのためのベビーマッサージ」などを実施した。小学生向けの行事の回数も増やすなど積極的に取り組んでいる。

要望は駐車場が少ないことに関するもの以外は苦情やクレームもなく利用者の評価も高い。利用者に対するサービスや接遇面でのスタッフの意識も高く、きめ細かいサービスが行われている。

職員体制や経営状況については問題なく運営が行われた。

隣接する大型商業施設と連携し、移動児童館や行事を継続して実施している。施設の広報にも活用している。また地域のこども行事に協賛参加し、地元での社会活動も活発に行っている。利用者数も増加している。

●指定管理者評価委員会の意見

事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていただきたい。

子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。

ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。

適正に管理運営されており、良好と認められる。